

平成28年度 栗原市決算審査意見書

【要約】

【審査対象】

平成28年度 栗原市一般会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算
平成28年度 栗原市介護保険特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市診療所特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算
平成28年度 栗原市財産に関する調書
平成28年度 栗原市基金運用状況
平成28年度 栗原市水道事業会計決算
平成28年度 栗原市病院事業会計決算

栗原市監査委員 鈴木 弘
栗原市監査委員 武田 孝一
栗原市監査委員 鹿野 芳幸

【審査の結果】

平成28年度栗原市一般・特別・事業会計の決算と基金の運用状況などを、平成29年6月5日（月）から8月21日（月）まで、関係法令に基づいて審査しました。その結果、決算書などの計数は正確で、その内容や予算執行状況も適正、妥当と認めます。

【一般・特別会計、基金運用状況など】

平成28年度は、「市民が創る くらしたい栗原」の実現を加速させるために掲げた「新たな7つの成長戦略」の最終年度であったことから、その目標達成に向け、子育て支援や若者定住促進、企業誘致、観光振興など様々な施策に取り組まれたところであります。

平成28年度から分譲を開始した築館インター工業団地及び若柳金成インター工業団地は積極的な誘致活動により順次分譲が進み、今後の雇用拡大が期待されるところであります。

また、幼保一体施設の整備や市立幼稚園の3年保育の実施、満18歳まで医療費無料化など、さらなる子育て支援策の充実と「住まいる栗原シェアリングタウン事業」などの若者世代の定住促進施策により、市外からの転入者が増えるなど一定の成果が見られました。

このことは、栗原に住み、子どもを産み育て、そして働ける環境づくりが着実に整ってきているものと評価できます。

財政状況については、これまで有利な財源の確保に努められたほか、必要性、緊急性、費用対効果を基に事業の選択と集中によって、各種指標が示すとおり合併時と比較して明らかに健全化が図られています。

しかし、平成28年度以降、普通交付税は町村合併の特例措置により段階的に縮減され、平成29年度以降にも算定方法の見直しが検討されていることから、今後は一定額の基金残高を確保しつつ、社会情勢の変化に的確に対応し、将来にわたって安定的な財政運営を行えるよう、施策・事業の一層の見直しを図るとともに、必要な財源の確保に努められるよう望みます。

結びに、平成28年度においては、各施策の成果が認められたところでありますが、今後も栗原市の将来像の実現に向け市民と行政が一体となり、第2次総合計画に基づく新たな事業推進に取り組まれることを期待します。



決算審査意見書等を市長に提出する様子

【水道事業会計】

給水状況は、総人口の減少に伴う給水人口の減少や、家庭における節水意識の高まりなどにより、年間配水量、年間有収水量ともに前年度と比較し減少したものの、平成27年度料金改定による経過措置及び給水戸数の増加により給水収益が増加しました。

しかしながら、営業費用も増加し、依然として給水原価が供給単価を上回っており、純利益を計上することとなったものの営業利益を確保することができなかつたので、引き続き水需要の減少への対策を講じながら、給水収益の確保と更なる経費削減に努められるよう望みます。

平成29年度に簡易水道事業が水道事業に統合することから、今後も経営安定を図るため、財政状況の推移を見据えた的確な事業計画や、資金計画の構築、未収金対策の強化、コスト意識の徹底、経営の合理化などに配慮するとともに、市民のライフラインとして安全・安心で良質な水道水を安定供給できるよう、一層努力されることを望むものであります。

【病院事業会計】

医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や著しい医療技術の進歩などに伴い急速に変化しており、医療機関においては、多様化する医療ニーズに対応した良質で安定的な医療の提供が望まれる中で、全国的な医療従事者不足への対策や医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築などが重要な課題となっています。

市立病院は、地域の中核的な医療機関として、市民に安全で安心な質の高い医療を安定的に提供するため、平成28年度は「栗原市病院事業第三次経営健全化計画」を策定し、経営改善に努められた結果、収益的収入における診療収入の増収や、医師確保対策に係る一般会計繰入金増、収益的支出における材料費の減などにより、前年度と比較して純損失が減少しています。

今後においても、市民が安心して暮らせるための医療を継続的に提供していくために、常勤医師の招へいをはじめ、医療スタッフの確保や育成に努めるとともに、地域の医療機関や介護施設等との連携強化、市立3病院の更なる機能分担の検討、経営改善に積極的に取り組まれることを望みます。

※「平成28年度 栗原市一般会計・特別会計 栗原市事業会計 決算審査意見書」の全文は、栗原市のホームページに掲載しています。

栗原市民憲章

(平成十九年九月一日制定)

このまちに生き このまちを愛し このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ 知恵と力を集め 夢と活力のあるまちをつくります

まなぐ

眼 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

あした

手 明日をぎっちり押さえ

あ

腹ん中 熱つつぐ熱つつぐ

むち

額こびに広がる宇宙

あまか

天駟ける駒にまたがり

われらいま風を切って走る

平成28年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

TEL 0228-22-1115

FAX 0228-22-0312

E-mail zaisei@kuriharacity.jp



ねじりほん

この決算概要に関してお気づきの点がございましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。